

香川大学の平成19年度に係る業務の実績に関する評価結果（概要）

（評価の詳細は、別添資料「国立大学法人香川大学の平成19年度に係る業務の実績に係る評価結果」をご参照ください。）

○国立大学法人評価結果の構成

- 1 全体評価
- 2 項目別評価
 - I. 業務運営・財務内容等の状況（5種類で評価されます。末尾をご参照ください。）
 - （1）業務運営の改善及び効率化
 - （2）財務内容の改善
 - （3）自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供
 - （4）その他業務運営に関する重要事項
 - II. 教育研究等の質の向上の状況

1 全体評価

香川大学は、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに、共生社会の実現に貢献することを基本的な目標に、「香川大学憲章」、「香川大学将来構想」を策定し、地域に根ざした学生中心の大学の理念に基づき、学生の卒業後の進路確定率を高めるなどの「出口から見た教育」の視点を重視した教育を実施している。

平成19年度は、将来構想に基づき、柔軟な教育組織と教員組織の構築、新しい学士課程、博士課程の設置を柱とする組織改革の平成23年度実施に向けた「将来計画(中間まとめ)」を作成している。また、学長のトップマネジメントによる中期目標・中期計画の着実な実現を推進するため、従来の予算配分を見直し、新たに「学長戦略調整費」を設け、年度途中においても経費の最終調整・決定を学長が行う仕組みを確立するとともに、学外有識者を加えたプロジェクト研究評価会により学長裁量経費のプロジェクト研究や萌芽研究の客観的な評価を行っている。

2 項目別評価

I. 業務運営・財務内容等の状況（5種類で評価）

（1）業務運営の改善及び効率化

①評価結果……**中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。**

②評価された取り組み例

○事務職員を対象とした目標管理制度及び能力評価制度を平成19年度から本格実施し、評価結果を平成19年12月の賞与から反映しており、評価できる。なお、教員活動評価については、平成20年度に本格実施することとしており、両評価制度の今後の着実な実施とその効果が期待される。

○学長のトップマネジメントにより中期目標・中期計画の着実な実現が推進できるよう、これまでの予算配分を見直し、新たに「学長戦略調整費」を設け、年度途中においても経費の最終調整・決定を学長が行う仕組みを確立している。

○大学運営の改善に関する重要事項についての意見を求めるため、新たに学長特別顧問に学外有識者を登用し、広報センター及び総合情報センターには専門知識を有する者を積極的に活用するなど大学運営に活かした取組を行っている。

③課題

○医学部臨床系教員の裁量労働制導入については、再検討することとなっており、裁

量労働制導入には至っていないことから、年度計画を十分には実施していないものと認められる。

(2) 財務内容の改善

①評価結果……**中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。**

②評価された取り組み例

- 科学研究費補助金の申請率向上のため、アドバイザー制度の改善を行うとともに、申請書作成のノウハウ集の作成、各部局別公募要領の説明会の実施等により申請率が95%(対前年度比15%増)となっている。
- 診療材料に係る価格交渉支援及び関連コンサルティング業務の請負契約を行い、診療材料費を2,400万円節減している。
- 中期計画における総人件費改革を踏まえた人件費削減目標の達成に向けて、着実に人件費削減が行われている。

(3) 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供

①評価結果……**中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。**

②評価された取り組み例

- 学外から当該分野の専門家を客員教授として受け入れ、学外の専門家をコンサルタントとして契約し、香川大学の広報戦略・ブランド戦略の強化を図っている。
- サテライトオフィス大阪の設置により、広報・入試活動、就職支援、産学官連携、同窓会との連携等の推進・強化を図っている。

③課題

- 広報誌の整理・統合については、平成20年度に継続して検討することとしているため、年度計画を十分には実施していないものと認められる。

(4) その他業務運営に関する重要事項

①評価結果……**中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。**

②評価された取り組み例

- 文部科学省が策定した「第2次国立大学等施設緊急整備5か年計画」に基づき安全・安心な教育研究基盤施設の再生整備を実施方針とし、キャンパスマスタープラン(施設整備計画図)を見直し、実行している。
- 「渇水対策マニュアル」を作成し、香川用水の取水制限の状況と高松市渇水対策本部等と連携を取りながら、学内の節水対策を行っている。
- 研究費の不正使用防止のため、香川大学における研究上の不正行為に関する取扱規程の整備、不正防止計画推進室の設置等を行っている。

II. 教育研究等の質の向上の状況(年度評価はしない。)

○注目される取り組み例

- ・キャリア教育の一環として、平成18年度に開講していた特別主題「人生とキャリア」に加えて、高学年向け教養科目として「キャリア・デザイン実践講座」を開設し、入学から卒業までをカバーするキャリア教育を整備している。
- ・学生の自主性、積極性、創造性等を高めるとともに、地域の活性化を図ることを目的に、学生が企画した魅力的・独創的なプロジェクト事業に対して経費の支援を行う「香大生の夢チャレンジプロジェクト事業」を実施している。

- ・就職支援活動に必要なデータの全学レベルでの収集を行うため、学生が自らの進路をウェブサイト上で登録できる「進路登録システム」を開発している。
- ・女性教職員の臨床現場定着や復帰支援等、女性の社会参加をサポートするための一環として、病院内保育所の平成20年4月開設に向けて取り組んでいる。
- ・海外拠点事業の一つとして、チェンマイ大学とのジョイントシンポジウムを交互に開催することとし、平成19年度第1回をチェンマイ大学において開催している。

(附属病院関係)

- ・救命救急センター、総合周産期母子医療センターにおいて、地域の医療従事者を対象とした研修の実施、先進医療の獲得等、地域からの要請が高い医療を提供している。また、腫瘍センターを設置し、地域医療機関と連携したがん診療に関する取組を企画している。その他、インシデントレポートの電子化を開始するなど、組織的な医療安全体制の構築を図っている。
- ・卒後臨床研修指導医養成講習会を実施し、研修指導医の質の向上を図った結果、医師・歯科医師のマッチング率100%を達成している。
- ・妊婦管理を目的として開発した周産期電子カルテネットワークの参加地域の拡大を図り、地域連携と社会貢献の体制整備を図っている。
- ・附属病院の収入目標を設定して、各科からの経営改善に役立つ意見の募集を行い、病院経営改善に努め、附属病院収入が117億円（対前年度比4億円増）となっている。

<参考>

評価の種類

- ・中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
- ・中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
- ・中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
- ・中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。
- ・中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある。